

MediaBlend

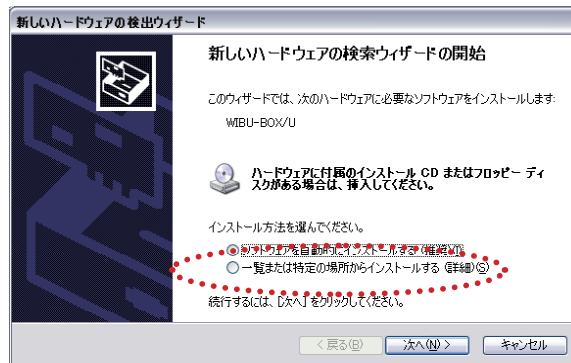
トラブルシューティング

起動時に「プロテクトキーが必要です」と表示された	106
プロテクトキーのトラブル時におけるドライバの再インストール	108
サンプル AVI が VFW モードで開けない	111
パソコンの処理速度が異常に遅くなった	111
MediaBlend で DV キャプチャした映像が VFW モードで開けない	111
スライドショットが起動できない	111
MediaBlend ファイルを開いたときに画像がグレー表示になる	111
滑らかに再生できない	112

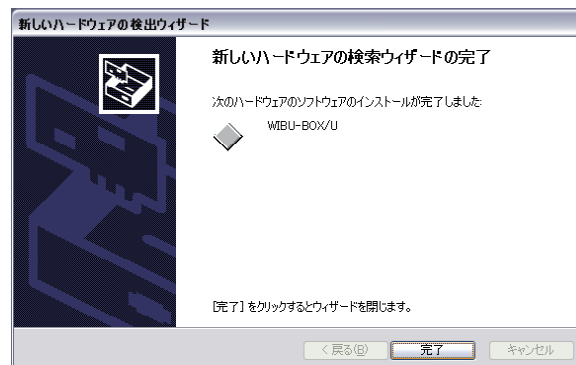
■ Chapter1
■ セットアップ■ Chapter2
■ スタートアップ■ Chapter3
■ DVキャプチャ■ Chapter4
■ 再生の基本■ Chapter5
■ 作図機能■ Chapter6
■ 解析機能■ Chapter7
■ 保存機能■ Chapter8
■ スライドショー■ Chapter9
■ その他の機能

起動時に「プロテクトキーが必要です」と表示された

MediaBlend を使用するには専用のプロテクトキーが必要です。プロテクトキーは出荷時に説明書、インストール用 CD と一緒にパッケージに同梱されています。プログラムを起動する前にパソコンの USB ポートにプロテクトキーを挿してください。



初めてプロテクトキーを挿した時に、左のウィンドウが表示された場合、[ソフトウェアを自動的にインストールする] を選択し、[次へ] をクリックしてください。

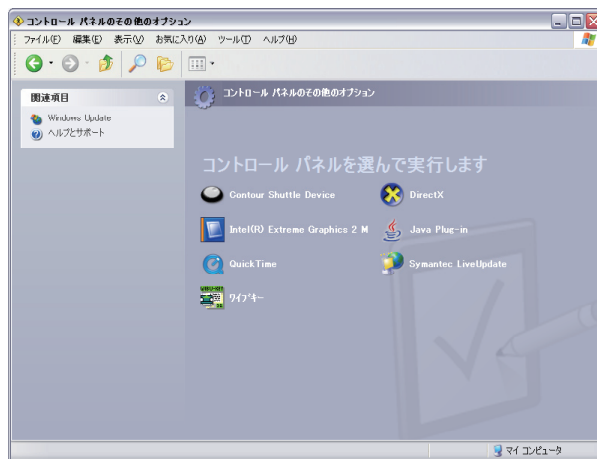


左の画面が表示されたら終了です。[完了] ボタンをクリックしてください。

● プロテクトキードライバの確認



コントロールパネルを表示します。
[コントロールパネルのその他のオプション]をクリックします。



[ワイプキー]が表示されている場合は、プロテクトキーのドライバはインストールされています。(表示されていない場合、次ページの「プロテクトキーのトラブル時におけるドライバの再インストール」の項を参照してインストールを行ってください。)

次に、プロテクトキーが正しく認識されているかを確認します。
[ワイプキー]をダブルクリックします。



「ワイプキーソフトウェアプロテクションテスト&設定」ウィンドウが開きます。

左の部分に [USB] というアイコンがあり、その下にプロテクトキーのアイコンが表示されている場合は、プロテクトキーが正しく認識されています。

表示されていない場合は、USBポートから一旦キーを抜いて、もう一度しっかりと挿し、[スキャンポート] ボタン (A) をクリックしてください。それでもプロテクトキーのアイコンが表示されない場合、プロテクトキーの故障が考えられます。お手数ですが弊社にご連絡ください。

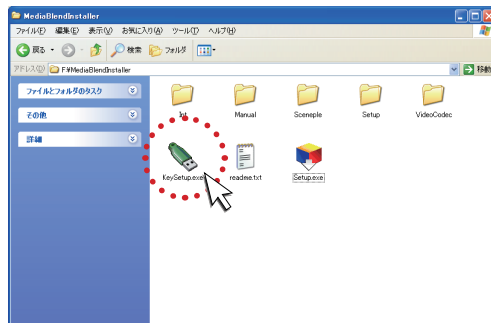
- Chapter1
セットアップ
- Chapter2
スタートアップ
- Chapter3
DV キャプチャ
- Chapter4
再生と基本
- Chapter5
作図機能
- Chapter6
解析機能
- Chapter7
保存機能
- Chapter8
スライドショー
- Chapter9
その他の機能

■ Chapter1
■ セットアップ■ Chapter2
■ スタートアップ■ Chapter3
■ DVキャプチャ■ Chapter4
■ 再生の基本■ Chapter5
■ 作図機能■ Chapter6
■ 解析機能■ Chapter7
■ 保存機能■ Chapter8
■ スライドショー■ Chapter9
■ その他の機能

プロテクトキーのトラブル時におけるドライバの再インストール

プログラムのインストールを行うとプロテクトキーのドライバも一緒にインストールされますので、通常はこのドライバのインストールを行う必要はありません。何らかの問題があってドライバのみをインストールする場合に参照してください。既にドライバをインストール済みの場合、キーを抜いて Windows を再起動してから以下の操作を行ってください。

注意：必ずプロテクトキーを挿す前にプロテクトキーのドライバをインストールしてください。



CD-ROM ドライブに「MediaBlend」の CD-ROM をセットして、マイコンピュータの CD-ROM を開きます。左の図の「KeySetup.exe」をダブルクリックしてください。



左のような画面が表示されたら「次へ」をクリックしてください。



左のような画面が表示されたら「次へ」をクリックしてください。



左のような画面が表示されたら「次へ」をクリックしてください。



左のような画面が表示されたら「次へ」をクリックしてください。



左のような画面が表示されたら「次へ」をクリックしてください。



左のような画面が表示されたら「はい…」の左のチェックをオフにして「終了」をクリックしてください。



左のような画面が表示されたら、「OK」をクリックしてください。

■ Chapter1
■ セットアップ

■ Chapter2
■ スタートアップ

■ Chapter3
■ DVDキャプチャ

■ Chapter4
■ 再生と基本

■ Chapter5
■ 作図機能

■ Chapter6
■ 解析機能

■ Chapter7
■ 保存機能

■ Chapter8
■ スライドショー

■ Chapter9
■ その他の機能

Chapter1
セットアップ

Chapter2
スタートアップ

Chapter3
DVキャプチャ

Chapter4
再生の基本

Chapter5
作図機能

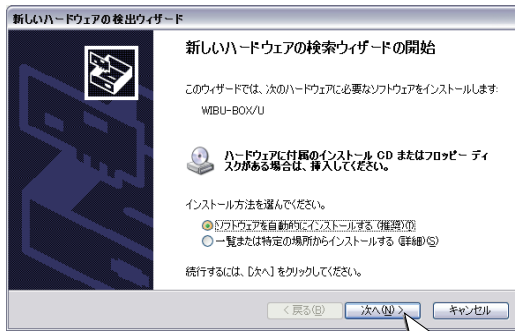
Chapter6
解析機能

Chapter7
保存機能

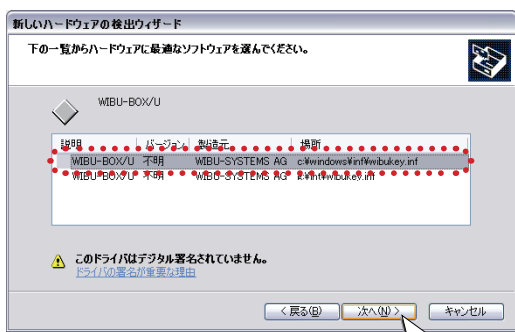
Chapter8
スライドショー

Chapter9
その他の機能

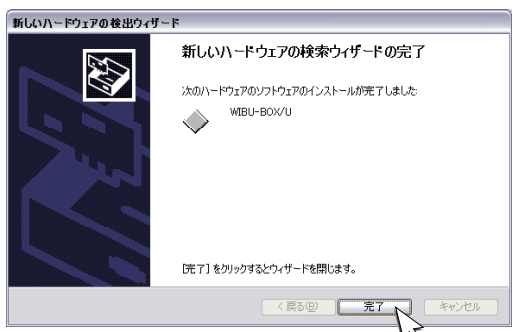
● プロテクトキーを挿す



パソコンのUSB ポートにプロテクトキーを挿してください。自動的にドライバのインストールが開始され、左のような画面が表示されたら「次へ」をクリックしてください。

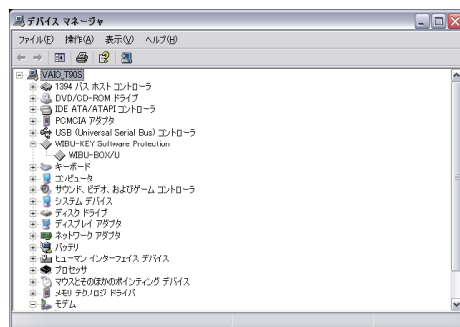


左のような画面が表示されたら、ハードディスクの Windows の下のフォルダ (通常は「C:\Windows\inf\...」) を選択して、「次へ」をクリックしてください。



左のような画面が表示されたら「完了」ボタンをクリックしてください。これでドライバのインストールは終了です。

● 確認方法



スタート→(設定→)コントロールパネルを選択し、「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」をダブルクリックします。システムのプロパティからハードウェアタブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックすると左のような画面が表示されます。「WIBU-KEY Software Protection」の左の+をクリックして「WIBU-BOX/U」が表示されているれば、ドライバが正常に組み込まれています。

サンプル AVI ファイルが VFW モードで開けない

MediaBlend インストール CD → VideoCodec フォルダ → index.html から、手順に従い DV コーデック "Iris" を登録する必要があります。

パソコンの処理速度が異常に遅くなった

拡大した透明化ウインドウを複数使用すると、処理が重くなる場合があります。画面の透明化は必要最低限になるよう操作してください。
また、DirectX モードは VFW モードに比べ、処理が重くなりますのでご注意ください。

MediaBlend で DV キャプチャした映像が VFW モードで開けない

MediaBlend インストール CD → VideoCodec フォルダ → index.html から、手順に従い DV コーデック "Iris" を登録する必要があります。

スライドショットが起動できない

スライドショットはオプション機能です。MediaBlend スライドショットオプションの追加が必要となります。

MediaBlend ファイルを開いたときに動画がグレー表示になる

動画のリンクが切れてしまっている可能性があります。
MediaBlend ファイルを保存して閉じた後に、動画の名前や保存場所を変えたりすると起きます。
その時にはまず、グレー表示になっている動画を選択状態にします。次に、[ファイル]メニュー → [選択 Screen に開く] で同じ動画を開きなおしてください。(P.33 参照)

■ Chapter1
■ セットアップ

■ Chapter2
■ スタートアップ

■ Chapter3
■ DV キャプチャ

■ Chapter4
■ 再生と基本

■ Chapter5
■ 作図機能

■ Chapter6
■ 解析機能

■ Chapter7
■ 保存機能

■ Chapter8
■ スライドショット

■ Chapter9
■ その他の機能

滑らかに再生ができない

MediaBlend では2ファイル以上の再生・同期、半透明重ね、映像上の解析・作図を行うためには動画ファイル中の各コマのビットマップ（静止画）の取得が不可欠です。ビットマップ取得のために VFW か DirectX のフレームを切り出して再生する方法を使用しているため、WindowsMediaPlayer のように滑らかに再生することはできません。

（補足）

AVI ファイルの再生には、プログラム内部的に以下の3種の方法があります。

種類	ビットマップの取得
VFW (Video For Windows) による再生	○
DirectX のフレームを切り出して再生	○
DirectX の通常再生	×

下記の3～10の機能のためには、VFW (Video For Windows) による再生か、DirectX のフレームを切り出して再生が不可欠です。

一方、30FPS でのリアルタイム再生を滑らかに行うためには、DirectX の通常再生が必要です。

No.	項目	MediaPlayer9～11	Media Blend
1	30FPS でのリアルタイム再生	○	△
2	フレーム単位のコマ送り	○	○
3	フレーム単位のコマ戻し	×	○
4	フィールド単位のコマ送り	×	○
5	フィールド単位のコマ戻し	×	○
6	コマ番号の表示	× (秒単位のみ)	○
7	2ファイル以上の再生	×	○
8	2ファイル以上の同期	×	○
9	半透明重ね	×	○
10	映像の上に作図や解析	×	○



滑らかに再生をしたい場合は、その他の機能の「選択 Screen をリアルタイム再生する (P.102 参照)」を使用してください。また、ムービーファイル保存後に保存したファイルをリアルタイム再生で確認することもできます。(P.76 参照)

